

西堀榮三郎記念探検の殿堂 ミニ企画展

金環日食

西堀青年も見たのか？

令和2年

6月13日(土) - 12月27日(日)

会期中の休館日

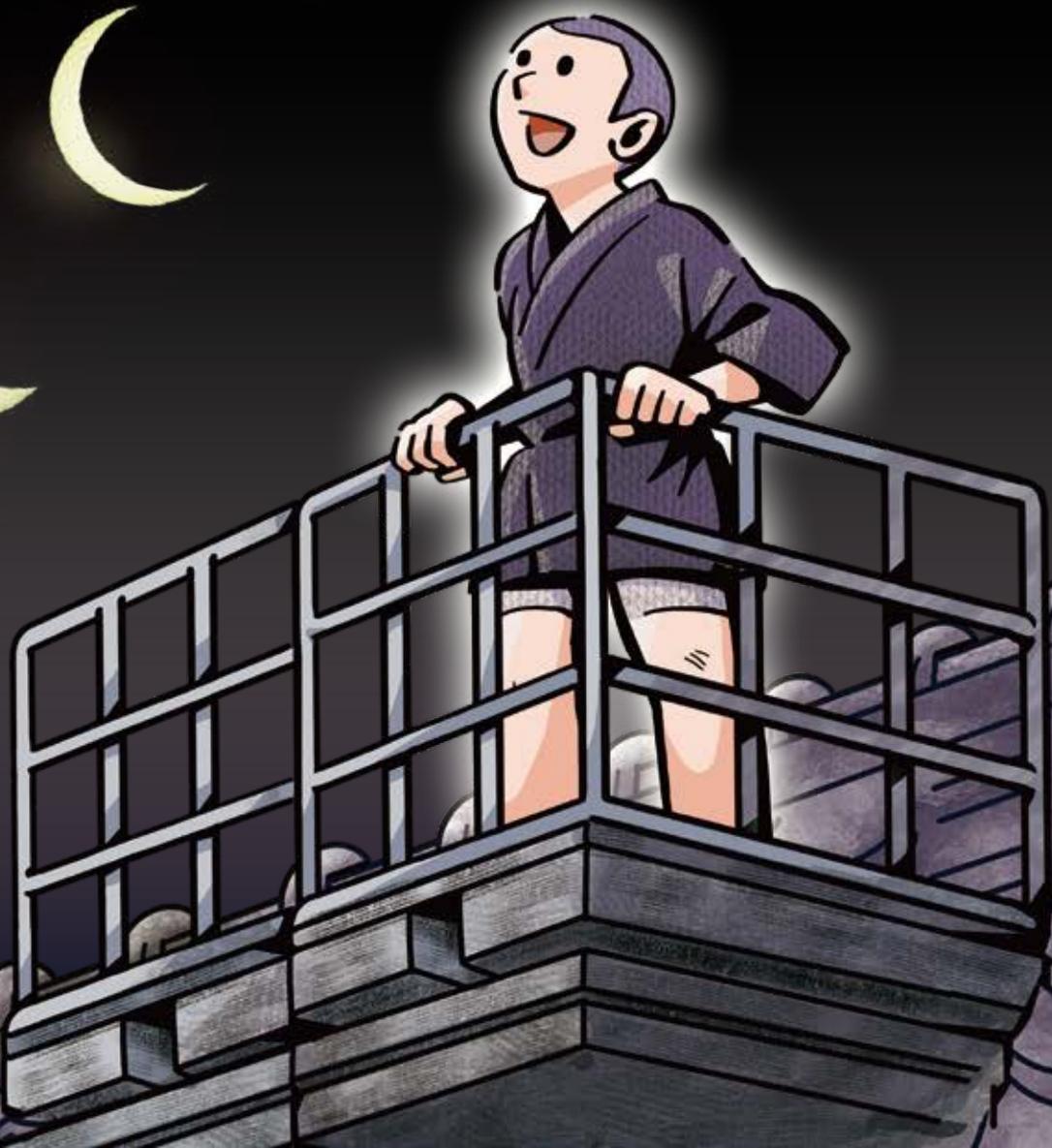
月・火曜日、7月23日(木)・24日(金)、9月23日(水)、11月4日(水)

会場 西堀榮三郎記念探検の殿堂
1階 西堀榮三郎記念室

大人300円(250円)

入館料 小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金
※東近江市民は無料

写真：井田三良



西堀青年も見たのか？ 金環日食

西堀榮三郎（1903-1989）は、初代越冬隊長・登山家・技術者など多くの分野で功績を残しましたが、幼いころから空や宇宙にも興味を持っていました。そして、そうした美しい星々を学術的に研究しようと意識したのは1918年6月9日に起きた日食現象でした。

今回の展示では、西堀に天文の知識や天体観測の方法を伝授し、多くのアマチュア天文家を育成した京都大学の天文学教授・山本一清^{やまもと いっせい}（1889-1959）氏との交流について紹介します。

京都大学天文学教授
山本一清先生



- 第一部：西堀榮三郎と山本一清氏の交流
- 第二部：藤井天文台から山本天文台へ 8月下旬開始予定
- 第三部：40年後の西堀榮三郎と山本一清氏 10月下旬開始予定

協力：富田良雄（専門・星間物質）、ダイニクアストロパーク天究館

展示関連イベント

共催：G-G-のサイエンス倶楽部、西堀榮三郎記念探検の殿堂 イベント協力(敬称略)：井田 三良、中井太郎（国立台湾大学 助理教授）

日食観測会 6月21日(日)

- 探検の殿堂で、部分日食を観測！
- 日食がおきる仕組みをまなぼう
- 金環日食が観測できる台湾からのライブ中継映像
- スマホを使って部分日食を撮影

金環日食の様子



写真：井田 三良

太陽にかぶさった月のふちから光があふれて指輪のように見える

6月21日(日)に起きる日食を、探検の殿堂で専用の日食観測グラスを使いながら観測します。今回の日食で、美しい金環日食が観測できる台湾の嘉義(かぎ)からのライブ中継映像もご覧いただけます。

集合時間	午後3時30分から 食の最大を迎えた午後5時以降は自由解散	参加費	300円/1人 (資料・日食観測グラス)
定員	10組程度 ※応募者多数の場合は抽選	持ち物	スマートフォン

参加ご希望の方は **6月18日(木曜日)お昼12時まで**に、電話もしくはFAXでお申し込みください

TEL **0749-45-0011** IP **050-5802-2291**

FAX **0749-45-3556** ※名前・住所・必要な日食観測グラスの数・電話番号・参加人数を記載してください。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。結果は18日(木)午後12時に当選者にのみご連絡いたします。

※天候の都合で、残念ながら日食が見られない場合もあります。

※新型コロナウイルスの影響によりイベント内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

西堀榮三郎記念探検の殿堂 EXPLORER MUSEUM

【住所】527-0135 滋賀県東近江市横溝町419番地
 【開館時間】10:00～18:00【休館日】月曜日・火曜日・国民の祝日、年末年始
 【入館料】大人300円・小中学生150円【メール】tanken@city.higashiomi.lg.jp
 【TEL】0749-45-0011【FAX】0749-45-3556

※東近江市在住の方・障害者およびその引率者は無料
 ※20名以上は団体割引(大人250円・小中学生120円)

